

**浜尾新** 教育行政家。東大創立期に同郷加藤弘之を補佐、その後継学長となり、優れた人材の活躍を支えた。

はまおあらた

北斎没・・・1849 = 但馬国豊岡で、江戸詰めの豊岡藩士濱尾嘉平治の子に生まれる。

**ペリー来航**・1853 = 4歳：父が死去。

五ヶ国条約・1858 = **9歳**：

**桜田門外変**・1860 = 11歳：

生麦事件・・・1862 = 13歳：藩主夫人の豊岡帰郷に際し、母とともに同行、以後、豊岡で育つ。

早くから、藩に出仕し、父と同じ記録係をつとめながら、文武両道に励み、

但馬聖人池田草庵の影響も受け、

**大政奉還**・・・1867 = **18歳**：

**明治維新**・・・1868 = 19歳：

戊辰戦争終・・・1869 = 20歳：\_藩費遊学制度により、慶應義塾および大学南校に学ぶ。

学問のすすめ1872 = 23歳：\_文部省に出仕、大学南校の中監事となる。

**明治6年政変** 1873 = 24歳：\_アメリカに留学、

佐賀の乱・・・1874 = 25歳：\_帰国し、開成学校校長心得、

三つの内乱・1876 = **27歳**：

**西南戦争**・・・1877 = 28歳：\***東京大学創立にあたり、同郷の法理文三学部総理(のちに東京大学総理)加藤弘之を補佐。**

・・・1880 = 31歳：再び、文部省に入って、官立学校局長、

**明治14年政変**1881 = 32歳：

内閣発足・・・1885 = **36歳**：\_学術制度取調のため、ヨーロッパに派遣される。

\_帰国後、専門学務局長として、実業教育行政に見識を示し、

**帝国憲法公布**1889 = 40歳：\***東京美術学校(東京芸術大学美術学部)の創立に際し、校長を拝命。幹事は岡倉天心。**

帝国議会始・・・1890 = 41歳：\_文部省専門学務局長として、東京農林学校(農商務省主管)の帝国大学への合併を推進。貴族院議員。

郡司千島探検1893 = 44歳：\***加藤辞任に際して推薦され、帝国大学(のち東京帝国大学)の第3代総長となる。**

**日清戦争始**・1894 = **45歳**：

八幡製鉄始・1897 = 48歳：この年、京都帝国大学の創設に伴い、東京帝国大学と改称される。\_第2次松方内閣の文部大臣となるも、

子規句歌革新1898 = 49歳：\_**総辞職で退任。**

日比谷公園・1903 = **54歳**：

**日露戦争終**・1905 = 56歳：\_**東京帝国大学の第8代総長となる。**

**韓国反日暴動**1907 = 58歳：男爵となる。

大逆事件判決1911 = 62歳：枢密顧問官。

**明治天皇没**・1912 = **63歳**：\***東京帝国大学総長を辞任。**

**第一次大戦始**1914 = 65歳：大宮大夫を兼任。

**原敬首相暗殺**1921 = **72歳**：子爵になる。

水平社結成・1922 = 73歳：枢密院副議長を経て、

護憲三派圧勝1924 = 75歳：枢密院議長になったが、

治安維持法・1925 = 76歳：\_**没した。**